

# INFORMATION

No. 1809-16

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、平成30年10月1日(月)受領分より、検査内容を変更させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承のほどお願い申し上げます。

敬具

記

### ■変更内容

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧
0268	梅毒定性 TPLA	項目名称	梅毒定性 TP抗体	梅毒定性 TPLA
0270	梅毒定量 TPLA	項目名称	梅毒定量 TP抗体	梅毒定量 TPLA
0425	TPLA<髄液>	項目名称	TP抗体<髄液>	TPLA<髄液>
0876	エリスロポエチン(EPO)	検体保存	凍結 (血清分離後凍結)	冷蔵

(裏面に続く)

### ■変更実施期日

平成30年10月 1日(月) 受領分より

株式会社 武蔵臨床検査所

\* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8  
TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659  
URL <http://www.e-musashi.co.jp>

## ■変更内容

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧
3821	RAS遺伝子変異解析	項目名称	RAS・BRAF遺伝子変異解析	RAS遺伝子変異解析

### ■「RAS・BRAF遺伝子変異解析」の検査項目内容

検査項目名	RAS・BRAF遺伝子変異解析
検査項目コード	3821
検体量	未染標本スライド 5枚
保存方法	室温保存
所要日数	5～8日
検査方法	PCR-rSSO法
基準値	なし
検体検査料	4000点(D004-2「1」悪性腫瘍組織検査(注イ)包括2項目)
判断料	34点(※1:尿・糞便等検査判断料)
備考	
生体由来組織中のRAS遺伝子エクソン2(コドン 12、13)、エクソン3(コドン59、61)、エクソン4(コドン117、146)変異及び、BRAF遺伝子変異(V600E)を解析する検査です。切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌の化学療法開始前にRAS及びBRAF遺伝子変異を確認し、各遺伝子変異の有無に応じて治療法を層別化する検査として有用です。 大腸がん診療における遺伝子関連検査のガイドンス第3版に、切除不能進行再発大腸がん患者に対し、一次治療開始前にBRAFV600E遺伝子変異検査を実施することが推奨されています。	
◇未染標本スライド材料について ご提出の際には、ホルマリン固定パラフィン包埋組織ブロックより厚さ5～10μmにて連続切片を作製ください。作製したスライドは、室温保存にて速やかにご提出ください。 また、未染標本スライドは、HE染色標本により腫瘍細胞が含有されていることを事前に確認のうえ、ご提出をお願いします。また、病理検査材料は、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては解析不可能となる場合がありますので、予めご了承ください。他項目との重複依頼は避けてください。	
◇留意事項 本検査に使用する組織片は、病理組織学的な評価がなされ、腫瘍組織の存在や含有量が確認されていることが受託の必須条件となります。切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌における治療選択の補助を目的として検査を実施した場合の保険請求上の名称は、「BRAF遺伝子検査」および「RAS遺伝子検査」で、悪性腫瘍遺伝子検査(2項目)の所定点数となります。	

## ■変更実施期日

平成30年10月 1日(月) 受領分より